

「レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた 糖尿病及び糖尿病合併症の実態把握に関する研究」について

当院では厚生労働省から提供を受けるデータベースを用いて、糖尿病やその合併症の実態把握のための研究を行います。

【研究課題】

レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた糖尿病及び糖尿病合併症の実態把握

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院

糖尿病・代謝内科、糖尿病・生活習慣病予防講座、企画情報運営部

国立国際医療研究センター 医療政策研究室

奈良県立医科大学 公衆衛生学講座

横浜市立大学 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻

研究責任者 山内 敏正 東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 教授

【研究期間】

2021年2月1日～2025年10月31日

【対象となる方】

2014年4月1日～2021年4月30日の間に、我が国で医療機関にかかったか、特定健診を受けた糖尿病の方。

【研究の意義・目的】

糖尿病の患者さんでは、様々な合併症を起こすことが知られている一方、新しい治療薬も次々に登場しています。この研究では、日本全国での糖尿病やその合併症の患者さんがどれだけいるか、そのような患者さんに対してどのような治療がなされているかを把握することで、糖尿病の重症化予防の課題を抽出すると共に、解決策の検討を目指します。

【研究の方法】

この研究は、厚生労働省、並びに東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。レセプト（保険診療の請求明細書）および特定健診の結果から構築されたデータベースを用いて行う研究です。患者さんの情報・データ等は、解析する前に個人情報とは一切連結できない状態で厚生労働省から提供を受けます。

【利用する情報の項目】

上記のような患者さんについて、病名、診療行為、処方薬・調剤、機材、入院情報、医療費情報、特定健診結果を抽出し、解析します。

【情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称】

東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 山内 敏正

【個人情報の保護】

この研究に関わる情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

患者さんの情報・データ等は、解析する前に個人情報とは一切連結できない状態で厚生労働省から提供を受けます。糖尿病・代謝内科において、笹子 敬洋（糖尿病・代謝内科）が、施錠された個室で、パスワードロックをかけたパソコンおよび施錠されたキャビネット内で厳重に保管します。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了まで保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

この研究に関する費用は、厚生労働省科学研究費から支出されています。対象となる患者さんへの謝金はありません。

2021年5月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 助教 笹子 敬洋

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35032）